



改修中 福井鉄道！！ 仁愛女子高校 電停

来年も愉快にまじめにROBA活！

●撮影／清水（20131211）

☆☆活動報告☆☆

11月29日

第11回えちぜん鉄道活性化連携協議会

11月30日～12月1日 終着駅サミット（南砺市）

12月18日 ROBA12月例会・理事会

☆☆今後の予定☆☆

1月15日（水） ROBA 1月例会・理事会

2月1日（金）～14日（金）

NPOパネル展（AOSSA、市役所）

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「買い物難民」をなくせ！ （副題）消える商店街、孤立する高齢者

杉田聡 中公新書ラクレ 840円＋税

買い物難民問題の解決策は、簡単に言えば市場のサービスから阻害されている少数派である車を使えない人々に、何らかの市場外からの施策でサービスを受けられるようにすることである。この本では、他の論者に比べてボランティア・地域の支え合いによる小規模店舗の運営（沖縄の共同売店など）、荷物を運ぶ送迎などに大きく期待をしていること、大規模店舗の出店規制（例えば小規模店舗が地域に残ることを条件にしか認めない）を奨励していることが大きな特徴である。

私は大規模店舗に近いところに買い物難民が引っ越すというのも解決策の一つであると思うし、車の運転できない買い物難民で財力のない人には、一定の生活保護の上乗せを行い、頻度は低いタクシーを使って買い物に行くか、大規模店舗の近くに引っ越すかとか、宅配を使うか自由に解決策を選んでもらうほうが多様で最適な答えが見つかると思うので、出店規制とか、必ずしも商店の魅力向上に努力しない旧来の商店やボランティアに解決を委ねる論調には大きな違和感を覚えた。

ま、根本は自動車利用者が社会的費用を十分に負担していなくて、それを負担させることが難しいので次善の策を考えるということでは杉田氏と私の考えは共通である。この本では買い物難民問題解決が主題なので、根本の自動車に社会的費用を払わず方策の主張はあえて封印しているが、無料駐車場の提供を通じた自動車非利用者の差別など、その方面で著者が言いたいことはたくさんあるはずである。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第11回えちぜん鉄道活性化連携協議会の報告

報告者：内田佳次

◆開催日時：平成25年11月29日 10:00～11:30

◆協議会委員

福井大学教授 川上洋司、えちぜん鉄道サポート団体和田会長、ROBA 会長内田佳次、福井商工会議所会頭代理 宮崎常務理事、えちぜん鉄道社長 豊北景一、福井市長代理越智健吾、勝山市長 山岸正裕、あわら市長代理 坂東理事、坂井市長代理 西川参事、永平寺町長代理 酒井課長

◆専門委員

中部運輸局湯田鉄道部長、福井運輸支局長代理 安藤専門官、福井県総合政策部長代理 堂阪課長

◆議事

■報告事項

①えちぜん鉄道の高架化について

平成25年12月から着工する。仮線で新幹線高架に乗入する。平成27年春には乗入を終わり新幹線高架の東側に単独の高架を建設して移転する。平成30年春には切替完了したい。どんなに遅くても平成30年の国体までには完成する。

②勝山駅舎改修完成について

大正3年に創建された勝山駅は当時の雰囲気そのままに平成25年10月に改修工事が完了した。また、駐輪場の改修、駅前ロータリー、テキ6の展示など関連事業を完了した。

③えちぜん鉄道からの報告について

- ・10周年記念事業を開催した。(内容省略)
- ・平成25年10月までの営業実績について

上期：前年対比100、1%の輸送人員、10月：記念事業があったので104%

- ・LRVは平成26年以降2編導入する。デザインが決定した。メーカーに発注する段階に来た。

④LRT整備計画に係る国のヒアリングについて

平成25年8月8日13:00～14:30 国土交通省にてえちぜん鉄道・福井鉄道LRT整備計画について説明を行った。また、FUKURAMの映像を用いて、軌道区間の状況について説明。
なお、詳細は省略します。資料欲しい方は内田まで申し出てください。

以上

福井市市民協働パワーアップセミナー 「資金調達のワザ、教えます」に参加して

開催日時：平成 25 年 11 月 16 日(日) 13:30 から 17:00

開催場所：福井市国際交流会館 2 階会議室

参加対象：NPO・ボランティア団体関係者や市民活動・資金調達に興味のある人

参加人数：約 25 人

出演者：早瀬 昇さん(講師・アドバイザー) 水上 聡子さん(進行役)

エコプランの吉川さん(パネラー) ROBA の畑 (パネラー)

福井市は毎年、活動団体から要望の多いテーマを中心に、市民協働に関するパワーアップセミナーを開催しており、今年のテーマを「資金調達」とし、セミナーを開催しました。私はこのセミナーに ROBA の活動を紹介するパネラーとして参加しました。

パネルディスカッションでは、「現状の活動報告」を皮切りに、「資金計画の立て方」「資金確保の方法」「資金調達の課題」について話が進んでいきました。

ROBA からの活動報告として、「紙コップ資金」「全国都市再生モデル調査」「業務委託」「助成金応募」の大きく 4 点について報告しました。

「紙コップ資金」

ROBA が設立する前の「有志の会」だった頃、会議室使用料を捻出するために、テーブルに置いた紙コップに皆で 100 円…500 円とお金を入れていたという話。(あんな頃もありましたね)

「全国都市再生モデル調査」

この収入が ROBA 資金源の礎になったと言っても過言ではないでしょう！この調査を経験して活動の幅もひろがりましたね。

「業務委託」

ばすでんしゃねっとふくい事例を紹介しました。行政とうまく協働できている良い事例。

「助成金応募」

民間企業の活動助成金や福井市のふくい市民活動基金に応募。様々な助成金に応募しているが、回数制限があり、すべてを助成金に頼るには限界があることを報告。

この他、「収益事業が赤字でも税金の 8 万円は絶対に必要です」と話をすると「えーそうなの」という恒例の反応が聞こえます。いまだに、NPO 法人になれば行政からの補助金があり、夢のような NPO 活動ができると思っている人もいます。

ROBA は自分たちでお金を出してでも活動する！というスタイルでここまで来たので、興味を示してくださる方は大勢いますが、ROBA の真似はできないという声もたくさん聞きます。ROBA も他の団体さんと同じように、普通に活動しているつもりでしたが、外から見た印象は「立派な団体」だそうです。(ありがたいことです)しかし実情としては、資金が潤沢にあって夢のような活動をしている団体には程遠いので、これからも身の丈に合った活動を楽しめるとイイナ♪と思います。

※ちなみに、昨年度のパワーアップセミナーにも ROBA が活動報告を行っています。テーマは「企業との協働」でした。

第1回 終着駅サミットin城端 報告

善光 孝

電車よりグルメ……の不良会員、富山県高岡市の善光です。今回は、富山県を走るJR城端線の終点である城端で11月30日、12月1日、両日に開催されました、“終着駅サミットin城端”について、ご報告を致します。

このサミットは、新幹線開業を目前に控え、ローカル線を活かし、地域を魅力的にして行こうと、南砺市を中心に活動する「富山県呉西地区公共交通再生研究会」の会員を中心に、役所、観光協会、商工会などの方々も交えた実行委員会によって進められました。長い名称の“呉西(ごせい)”とは富山県の西部。“呉”は呉羽山です。私もこの会に所属しており、2年前、何気なく終着駅サミットでもやってみれば？ と冗談半分で言ったのが今年になってやろうと言う事になってしまったのです。そんな訳で、中身は私が企画、調整し、あとは多くの方々がそれぞれの持ち味を活かし、実行委員長の迫力ある号令のもと、連携プレーで準備しました。

1日目、ロバからは、内田さん、清水さん、松原さんが参加されました。高岡11時55分発の城端線は40名近くの参加者で大賑わい。予約の方は、特製、城端駅弁を味わっていただきました。1000円で販売しましたが、1500円かかったとの事でした。このお弁当に善光は大喜びでした(汗)。

サミット会場は、終点の城端駅近くの伝統芸能会館「じょうはな座」。全国から320名ものお客さんに来場いただきました。歓迎アトラクションとして、城端の伝統芸能、庵唄で開幕後、まずは“タマ駅長”で有名な和歌山電鐵専務の磯野さんが基調講演を。前会社、行政、市民、新会社が一体となって鉄道を再生させていった話をされました。続いて鉄道アーティストの小倉沙耶さんがゲスト講演。訪れたい鉄道(駅・まち)にするには……について提案。富山市の斉藤政策監は富山市のコンパクトシティについて説明をされました。討論会では、氷見の本川市長、南砺市の田中市長を交え、地域鉄道の現状、今後の課題、終着駅を活かしたまちづくりなどについて話し合いました。前向きで活発に動かれる両市長で、今後の公共交通やまちづくり政策に期待したい所です。

募集しておりました終着駅エッセイの最優秀賞はなんと宝塚の方。たくさんの方の名産を射止められました。最後は、サミット宣言と次回開催地の発表。路○電○サミットのパクリで、すみません(笑)。次回はJR氷見線、氷見での開催になりました。南砺市長から氷見市長にタブレット(単線鉄道の通行手形の輪っか)と鉄道制帽が渡され、サミットは終了しました。余談ですが、このタブレットと制帽は私のものです。前日、南砺市長が私に、“輪っか”持っていない？ と。輪っか？ ……ああ、ハイハイ……。探します……。となった訳です。

夜は、全国各地の宿泊希望者10名で、五箇山・相倉地区へ向かいます。泊まるのは世界遺産の合掌造り民宿。外は、うっすら雪景色です。囲炉裏を囲んで、山の幸、川の幸を味わいます。囲炉裏で焼かれていたイワナも出されます。こりゃ、い～わなあ～…(寒)。お酒も入り、まったりと公共交通やそれぞれの地域の話に花が咲きました。

翌朝、合掌造りは朝靄の中で、実に幻想的。墨絵の世界です。おいしい朝食の後、合掌集落を散策し、城端に戻り、列車で高岡に向います。

その後、内田さん、松原さんを含めた5人で、万葉線に乗って新湊へ。きときと(富山弁で新鮮)市場で思い思いの海鮮丼をいただきます。私の“寒ぶり丼”は最高でした！

今回は、第1回目の終着駅サミットと言うことで、手探り状態でしたが、地元の多くの方々の協力を得、お陰様で各地からたくさんの参加のもと、盛会裏に終える事ができました。

地元の鉄道を、みんなで盛り上げる事の必要性、大切さを知り、まちづくりに地域鉄道を活かさない手はない事を改めて確認できたと思います。

以上、グルメ報告…でした…。

余談 . . . 富山県に、ついに新幹線が！

もう一つ余談ですが、12月4日、北陸新幹線の長野～黒部宇奈月温泉間で、初めての新幹線車両、イースト・アイ(総合試験車)が走りました。富山県の一番東の街、朝日町で『北陸新幹線の初通過を歓迎する会』のイベントが開かれました。松原さんと私、善光も企画段階から参加しておりました。

さて当日、河川堤防に町民やマスコミなど 100 人が集まりました。予定より1時間50分遅れて新幹線がやって来ました。時速 30 キロ程度のモ～(牛)スピードでやって来ました。来たぞお！… 歓迎横断幕を張り、みんなで手を振り、まめなけ～！(元気ですか、の意)と叫ぶ。感動の一瞬。とうとう富山にも新幹線が来たんだなと実感しました。来場者には記念に『北陸3県で、北陸新幹線走行を最初に見た人』証明書、なるものを配り、喜んでいただきました。

数時間後、イースト・アイちゃんは、夕日を浴びて長野に帰って行きました。



●終着駅サミット・開催記念駅弁



●オープニング・庵唄



●討論会 ・ ・ 左から高橋先生、磯野さん、小倉さん、本川氷見市長、田中南砺市長



●次回開催地へ通票渡しの儀式 ・ ・ 左から松本実行委員長、田中南砺市長、本川氷見市長



●世界遺産の合掌造り民宿での夕食



●んまそ〜 ・ ・ ・ 民宿“五ヨ門”の夕食



● 民宿のおばさん、おばあちゃんと
いっしょに



● 合掌造りの前で



● 第1回サミットの終着・城端駅にて



● んまそ〜 . . . 新湊・寒ぶり丼



● 富山県の東端、新幹線が来たぞ〜！



● 富山県の新幹線初走行、見たぞ〜！

冬の九頭竜湖に行ってみた・・・

12月4日に九頭竜湖を旅してきました。(仕事で現場確認をしたかったというのが本当の目的ですけどね)絶好の紅葉盛はとくに過ぎ、すっかり冬支度した山々の風景を堪能してきました。

みなさん、福井県大野市にある「箱ヶ瀬橋」って聞いたことありますか? 「ない?」では、「夢のかけ橋」と言えば分かりますか? この橋は瀬戸大橋の試作としてつくられました。福井県と岐阜県の県境付近の奥地にあります。何とも豪華な吊り橋が九頭竜湖を横断しています。

春は桜や新緑、秋は紅葉、冬季以外は釣・キャンプ・カヌー、そして朝霧の幻想的な風景や、湖面に映る鏡面風景も Good!

色んな歴史がある九頭竜湖に行ってみませんか?



上：県道 230 号からみた箱ヶ瀬橋

下：箱ヶ瀬橋からみた子馬巢谷橋

※奥に通っている道路が国道 158 号



作/漆寄 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

内田 (発行責任者)

「この時期が来るとみんなが口にする言葉『1年って経つのが早いなあ!』今年使わないでおうと思ったけど……。」

林 (変集長)

「来年は薪ストーブが我が家に来ます! JJ JJ!」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>